

北海道余市町

ふるさと納税 の実績

2026年8月1日現在



はじめに

多くの皆様に、毎年ふるさと納税を通じ、沢山の応援をいただいています。
余市町を応援してくださる皆様、本当にありがとうございます。
本資料では、ふるさと納税の実績・使い道について説明いたします。

目 次

- 01 寄附実績
- 02 寄附の使い道
- 03 寄附活用実績

Thank you

01

寄附実績

ふるさと納税制度における寄附実績一覧

(単位：円)

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
524,000	670,000	730,000	1,395,288	2,740,000	150,000	4,843,000	8,189,000	4,236,971

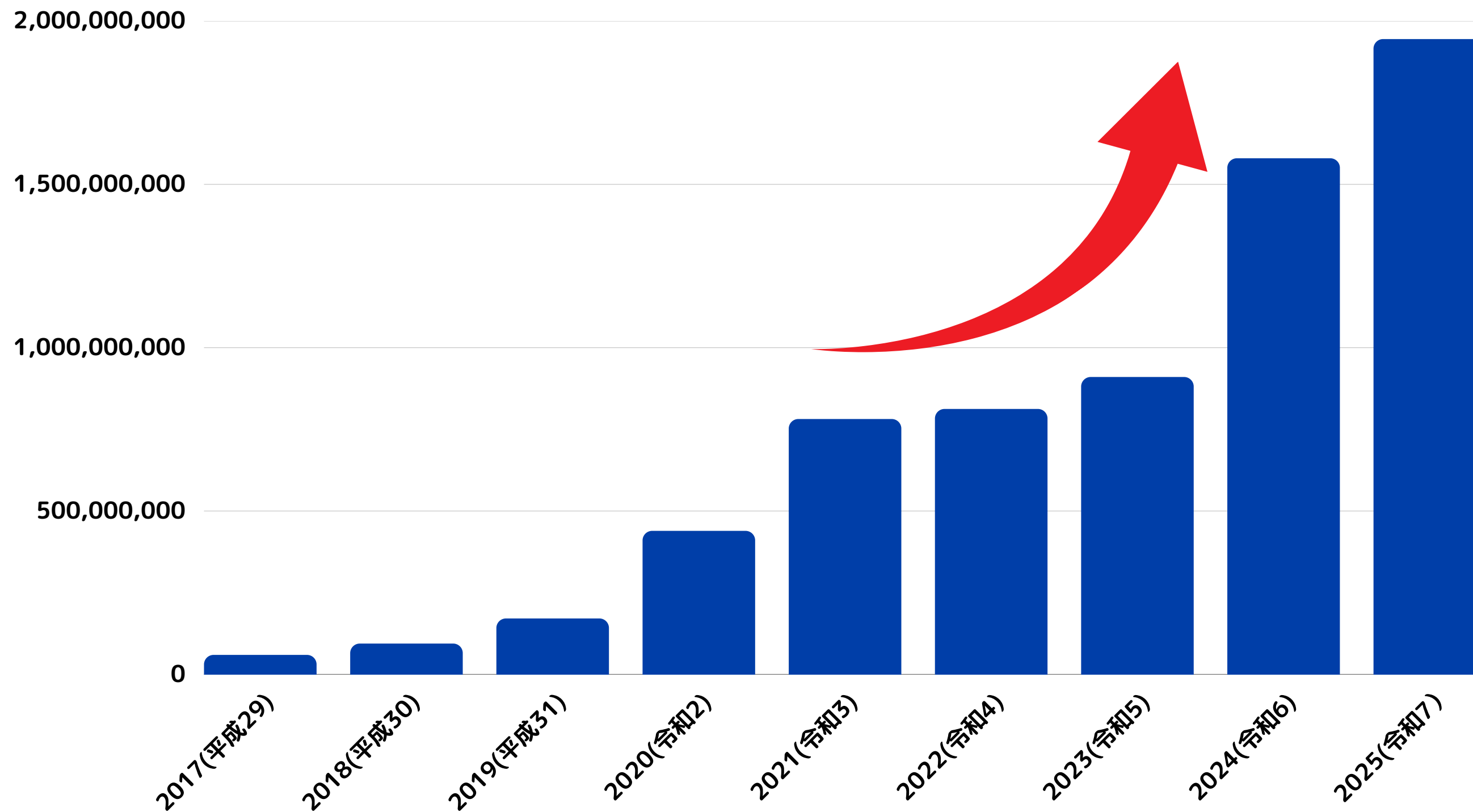
平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年	令和7年
59,485,553	94,175,556	171,045,297	439,198,505	781,594,000	812,389,000	885,879,044	1,522,781,578	1,944,719,191

※令和元年度から実際に年度内に寄附額が入金された額を記載しています。
(平成30年度分までは年度内のふるさと応援寄附金の取扱額を記載しています。)

01

寄附実績

受入寄附金額推移グラフ



02

寄附の使い道



余市町では、寄附金の使い道が条例できめられています。

余市町ふるさと応援寄附条例

活力と魅力に満ちた個性あるふるさとづくり

- 地域の強みを生かした産業の振興と雇用の創出に関する事業
- 移住・定住、人の流れをつくる施策に関する事業
- 若い世代の安定と、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりに関する事業
- 町民が安心して暮らせるまちをつくり、広域連携の推進に関する事業
- 余市町の未来を担う青少年を育成するための事業
- 地域再生法（平成17年法律第24号）第5条第4項第2号に規定するまち・ひと・しごと創生寄附活用事業として行う事業
- その他目的達成のため町長が必要と認める事業

ふるさと納税の寄附金の活用事業例



子育て

- NEW 出産祝い金
- NEW 子ども医療費無償化
- 放課後児童対策
- 産後ケア事業
- 不妊治療事業
- 予防接種事業



防災

- 防災マップ作製
- 防災活動助成

- NEW 無痛分娩助成
- NEW 給食費無償化
- NEW 保育所無償化



産業

- 投資的な補助
- プロモーション事業
- 新規就農支援
- 有害鳥獣対策
- 住宅取得補助
- NEW 円山公園整備事業



観光

- 文化財保護事業
- 観光受入体制強化
- イベント開催補助
- プロモーション事業



教育

- NEW 教育用ICT機器更新
- NEW 奨学金返還の支援
- 図書購入
- 部活動備品購入

NEW ふるさと納税を財源に
新たに始めた事業

ふるさと納税を財源に
継続・拡充をすること
ができています

03

令和7年度

寄附活用実績

地域の強みを生かした産業の振興と交流人口の創出に関する事業

令和7年度の本事業では、「ガストロノミーツーリズムプロジェクト」において、ワイン産業を核としつつ、一次産業の魅力向上を図るとともに、新たな観光コンテンツや特産品の創出、これらを町内で体験・消費できる環境の整備を進めました。これらの取組を通じて、町の多様な地域資源の魅力を発信し、交流人口の拡大及び地方への新たな人の流れの創出を目指しました。

令和7年度事業費：約2950万円

ex.1

産業の推進・環境整備

余市町の一次産業に関する魅力向上・新たな観光コンテンツの開発

(例)

- 醸造用ぶどうの苗木や栽培に必要な資材の購入費用を支援し、海外マーケットに対応した品種への新植・改植を推進しています。
- 特産品を活用した地産地消イベントの開催を支援したほか、ワイン用ぶどうの収穫ボランティアを募る公式LINEアカウントを活用してイベント開催を行うことで関係人口・交流人口の創出を図りました。
- 町内外にて余市やワインの良さを伝えるためのツアー・フェスティバル・ペアリング会など様々なイベントを実施しました。



03

寄附活用 実績

若い世代の安定と、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりに関する事業

令和7年度の本事業では、給食費の無償化をはじめ、放課後児童対策事業、乳幼児等医療助成制度、不妊治療への助成、HPV等の自己検査に対する助成、子育て応援助成など、子育て世帯の経済的負担の軽減や、子どもの健やかな成長を支援する各種施策を推進しました。これらの取組を通じて、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を進めました。

令和7年度充当額：約1億1600万円

ex.1 保育料・給食費・医療費の無償化

0～15歳までの保育料・給食費用の無償化

子育て世帯の経済的な負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるため、医療費、保育料、学校給食費の無償化を実施しています。

子育てにかかる費用を幅広く支援することで、家庭の負担軽減を図り、子どもたちが成長できるまちづくりを進めています。



ex.2 出産・子育て応援制度

出産や子育て世帯に対して、給付金や検診・支援センターなど様々な応援をする制度

妊娠中・出産後には、5万円の給付金を支給。

子育て世代包括支援センターを設置し、LINEでの相談や面談を実施し安心して出産をできるよう支援しています。



移住・定住、人の流れをつくる施策に関する事業

令和7年度の本事業では、**若年者定住促進奨学金返還支援事業**や**住宅取得等支援事業**、**介護人材確保・定住事業**など、移住・定住、ひとの流れをつくるための各種施策を進めました。

令和7年度充当額：約1100万円



余市町の未来を担う青少年を育成するための事業

令和7年度の本事業では、子供たちに**プログラミング教育**を実践する施策や、**小中学校・図書館の図書**を充実させる施策、その他**部活動への支援**等を進めました。

令和7年度充当額：約3000万円



ex.1

若年者定住促進奨学金返還支援事業

高校・専門学校・大学等の在学中に借りた奨学金返還の支援

若者の定住・就業を促進するとともに、町内への人材の定着を図るため、大学等の在学中に借り入れた奨学金の返還を支援する事業を実施しました。町内に居住し、就業する若者を対象に、奨学金の返還額に応じて助成金を交付し、5年間で最大72万円を支援することで、若者の経済的負担の軽減と、地域への定住・就業の促進につなげています。

ex.2

図書購入補助事業

市内の小・中学校、図書館の本を購入する資金支援

未来を担う青少年の健やかな成長と学びを支えるため、市内の小・中学校や図書館の図書を充実させ、子どもたちが幅広い分野の本に触れ、豊かな知識や想像力を育むことができる環境づくりを進めました。また、学校におけるICT教育の充実を図るため、学習に使用するタブレット端末の更新にも活用し、子どもたちがより快適な環境で学ぶことができる教育環境の整備を進めました。



おわりに

これまで余市町に心を寄せ、多くの温かいご支援・ご応援をお寄せいただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

余市町では、ふるさと納税の本旨に則り、皆様からいただいたご支援を大切に活用しながら、活力と魅力に満ちた、個性あるふるさとづくりを進めてまいります。

これからも、応援してくださる皆様、そして地域の事業者の皆様とともに、より良い余市町を築いてまいりたいと考えております。

今後とも、余市町への変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

余市町